

## 2019年度事業報告（2019年4月1日～2020年3月31日）

2020年5月22日

特定非営利活動法人サポートハウス ワン・ピース

理事長 滝本美知留

### 1、事業活動方針

心身の発達や成長につまずきのある子どもとその家族を対象に地域社会での生活を支援する。

### 2、2019年度の事業活動

- ・引き続き放課後等デイサービスを事業の中心に据えて日中一時支援事業、障害児相談支援事業も継続。
- ・子どもたちの余暇支援として、和太鼓サークル、ゲーム大会を継続。
- ・処遇改善加算の配分は前年度と同じ、全職員の月々の給与に約10%上乘せ。
- ・職員の退職による異動で報酬減算が発生したり、2月3月はコロナ感染防止のため事業を縮小したため事業収入が当初見込みより約1000万円少なくなった。

①ワン・ピース南、4月～10月まで20人定員で受け入れたため約513万円減収

②ワン・ピース北、加配加算がなくなり52万円減収

③グーン、6月～8月児発管不在減算のため約100万円減収

④コロナ感染拡大のため2月約100万円、3月約200万円減収

### 3、事業について

#### ①放課後等デイサービス デイサービス 契約者 210名

営業時間 11:30～17:30

サービス提供時間 13:30～17:30

常勤職員…14人 非常勤職員…19人

日々のサービス提供にあたり、活動の目的と内容を明確にするように工夫をした。

#### ◇ワン・ピースやまと北（児発管：鈴木・宍倉）

定員 20人 契約児童 85名

単位1(小学生)：52名 単位2(中高生)：33名 送迎車5台

\*児発管の鈴木が9月から産休に入ったため、9月から武藤が担当

#### ◇ワン・ピースやまと南（児発管：渡部・11月から川原）

定員 20人 契約児童 76名

(小学生)：33名 (中高生)：43名 送迎車4台

\*4月～10月までは20人定員1単位、11月から10人定員2単位で受け入れ

#### ◇グーン（児発管：武藤）

定員 10人 契約児童 53名 送迎車2台

\*児発管研修未修のため6月～8月児発管不在となった。

\*9月から武藤が北の児発管に異動したため、中村が管理者と児発管を兼任。

## ②日中一時支援事業

利用希望者は増えている。

長期休業期間以外は代休日や午前日課の時に利用があった。

事前調整して各保護者に連絡しているが、直前の変更が多く出た。

## ③相談支援事業

約 100 件担当 150 件ほどの計画・モニタリング作成

南を利用している児童の計画(約 30 件)は渡部が主に相談・作成を担当した。

## 2、余暇支援に関する活動

ア、夏休み企画(松風園・自立支援センターと共催)

ムーブメント 2 回、ダンス 1 回、和太鼓 2 回

工作教室は 8/25 神奈川土建大和支部の協力で開催。

イ、余暇支援

・ゲーム大会…6 月・10 月開催

参加者は中学生高校生が中心、落ち着いた雰囲気を楽しんでいる。

・和太鼓ルーフィーズ…13 名で活動

## 3、家族支援に関する活動

ア、保護者会等…なし

イ、ワン・ピース通信を 7 月初めに発行

## 4、職員研修

・12/11 発達障害について(西岡秀樹氏)

・3 月開催予定の研修(児童虐待について)はコロナウィルス感染拡大のため次年度に延期となった。

・11 月安全運転講習 10 名の職員が受講

## 5、事業者自己評価・保護者評価を実施し、評価結果をホームページで公開

## 6、他団体との連携等

ア、大和市自立支援協議会児童部会の会員として関係団体との連携・情報交換

イ、ボランティアは希望があれば受け入れる

ウ、こども食堂(たまめし食堂)への協力

会場提供・職員がボランティアとして参加

## 7、広報・その他

①ホームページ ブログ更新が遅れがちになってしまった

②作品展…12 月下旬に開催

③2020 年度の利用希望者の受付方法を電話先着順に変更。大きな混乱はなかった。